

シリーズ  
教育  
No.29

教育の窓



# 「未来トーク2013」

150名が熱く未来の八百津を語り合う！



少子高齢化、過疎化の進む八百津町の未来に向けて、小中高生と若者がまちづくりを真剣に話し合いました。今回は事前にワークショップを行い、3つの柱となる提言と具体的な事項を提案しました。飛び入り参加された国会議員をはじめ県議会議員の方々に参加されました。コーディネーターの松本教授に「若者、とりわけ子ども達がこれほどすばらしい考えを持っていることに感動しました」と評価していただき、講話では、

**「まちづくりの基本は子ども達・若者が住みやすい町にすること」**です。とわかりやすく話していただきました。また、ミニコンサートもありすばらしい演奏に感動しました。3本の柱となる提言と具体的な事項は次のとおりです。

- 提言1 人と人とのふれあいを大切にしまち**
  - ・挨拶ができ、ゴミがない町に
  - ・地域活動に積極的に参加できる町に
- 提言2 元気で活気のあるまち**
  - ・人口を減らさない町に・有名な町に
  - ・安全に歩ける町に・学校は地域に欠かせない (八百津東部中)
- 提言3 豊かな自然を大切にしまち**
  - ・自然を大切にしまち
  - ・豊かな自然を活用できる町



八百津小学校 西野友理さん  
錦津小学校 吉田七都実さん  
久田見小学校 所 孝樹さん

提言は実現可能な具体的な手立てを小中学生が説明する形式で行いました。

**提言1**では子ども達は地

域活動や挨拶運動など積極的に取り組んでいるが、大人の関心が薄いので、一緒になって活動してほしい、という願いと、実際の取り組み方も紹介されました。

**提言2**では人口を減らさないために魅力ある町を



20代若者代表  
三浦大智さん 伊藤有加さん

アピールする手立てをいくつかも紹介されました。小学生が考えた地域紹介パンフレット、魅力溢れるホーム

ページ作成、八百津ならではのミニイベント開催などです。また、過疎地の学校が存続するために、学校は地域に貢献できる仕組みを作り、地域の方が自由に学校に出入りでき、社会体育でできるだけ施設開放



八百津高校3年  
岩井紗耶花さん

する提案も出されました。こうしたことを踏まえて、町に住みたい人を増やす取組を、行政にも求められました。



名古屋工業大学大学院  
教授 松本直司先生

**提言3**では八百津の自然を守ることと活用する具体的な案が出ました。動物との共生を図る手立て、豊かな自然が生きる手立て等です。最後に名古屋工業大学大学院教授の松本先生から貴重な講話が聞けました。先生からは、子ども達

が中心となってまちづくりを考える会は全国にないことで、すばらしいとほめて



八百津東部中 藤本一心さん  
八百津中学校 下垣内伶生さん